

9/6
朝日

自衛隊 福井市街地でパレード

一方で、「戦力誇示の市中行進反対」「集団的自衛権は違憲」といった意見が、沿道には大勢の見物客が詰めかけ、行進を撮影したり、拍手を送つたりする人の姿が目立った。

3年に陸上自衛隊鶴江駐屯地の創立50周年を記念して始まり、今年で3回目となった。川田達男実行委員長は「国のお安全を担う自衛隊が不測の事態に備えていることを我々は認識しなければいけない」とあいさつした。



フェニックス通りを行進する自衛隊の車両=福井市大手3丁目

福井や石川、京都など1府6県の陸海空自衛隊の市中パレードが5日、福井市のフェニックス通りであった。装甲車やミサイル発射機などの車両約30台が行進し、上空では戦闘機4機が飛行した。

「自衛隊の車両による備え」

た幕を掲げる人たちもいた。

幼稚園の礼拝で、子どもたちに平和について語ることが多いという福井市の教会牧師、小林聰さん(46)は「平和ではなく、じはんによつて」と書いたプラカードを手に沿道に立った。

小林さんは、パレードを見つめながら「武装した車が子どもたちの目の前を通りこんでいることに違和感を感じます」と話す、「武力に頼らない平和の道もあるんだといふことをしっかりと伝えていかなければ」と力を込めた。

(堀田浩一)



沿道ではパレードに反対する横断幕が掲げられた=福井市順化1丁目